

2011年11月4日

タイの洪水による影響について（11月3日時点）

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、10月初めに発生したタイの洪水について、関連会社のタイヤクルト株式会社（会長 プラパン・ヘクタン）の11月3日時点における事業への影響をお知らせします。

記

1. 工場の状況

タイヤクルトでは、アユタヤ県のアユタヤ工場とバンコク市内のバンコク工場の2工場で「ヤクルト」の生産を行っています。

(1) アユタヤ工場

周辺道路はすべて、工場敷地の一部は冠水していますが、建屋への浸水はありません。アユタヤ工場は、10月8日から生産を停止しています。なお、アユタヤ工場は、アユタヤ県の工業団地には属していません。

(2) バンコク工場

溢水が工場周辺に到達し、周囲の冠水が始まっています。バンコク工場の敷地内にも、ごくわずかに水が流入していますが、ポンプによる排水で対応可能な状況で、建屋への浸水はありません。バンコク工場は、10月20日から生産を停止しています。なお、バンコク工場も工業団地には属していません。

2. 社屋、拠点等の状況

タイヤクルト社屋への浸水はありません。ヤクルトレディの営業拠点であるセンターでは、13か所で冠水しています。

3. 製品の供給状況

10月21日の出荷を最後に、全ての製品供給を見合わせています。なお、現地生産・現地販売で事業を行っているため、影響はタイ国内に限られます。

4. 現地社員、ヤクルトレディとその家族の状況

全員の無事を確認しています。

5. 日本人駐在員の状況

日本人駐在員については、非常事態に備えてバンコクにとどまっています。

6. 被災者支援

タイヤクルトでは、10月下旬以降、保有していた「ヤクルト」310万本の在庫を支援物資として被災者に提供しました。また、11月1日には、社員の安全に配慮したうえで、被災者支援を目的に、バンコク工場「ヤクルト」を35万本生産して提供しました。

以上

【参考】

1. 当社業績に与える影響

タイヤクルトは、持分法適用関連会社です。当社の連結業績（持分法損益）に与える影響については精査中です。

2. タイヤクルト株式会社の概要

会 社 名：タイヤクルト株式会社（株式会社ヤクルト本社の持分法適用会社）

本店所在地：バンコク市

代 表 者：プラパン・ヘークタン

社 員 数：1,228名（2011年9月）

販 売 商 品：「ヤクルト」

販 売 実 績：2,816,010本／日（2011年9月度実績）